親密な友人関係における性格の認知(3)

—擬態語による性格認知と友人関係上のリーダー／フォロワー認知についての事例的検討—

○向山泰代¹・酒井恵子²・西岡美和³・小松孝至⁴

(¹京都ノートルダム女子大学・²大阪工業大学³甲南女子大学・⁴大阪教育大学)

キーワード: 擬態語性格尺度, 性格認知, 事例研究

Personality perception in close friendship (3)

Yasuyo MUKOYAMA¹, Keiko SAKAI², Miwa NISHIOKA³, Koji KOMATSU⁴

(¹Kyoto Notre Dame University, ²Osaka Institute of Technology, ³Konan Women's University, ⁴Osaka Kyoiku University)

Key Words: Gitaigo Personality Scale, personality perception, case study

目 的

発表者らは、擬態語性格尺度(小松ら, 2012)を用いて大学生の親密な同性友人ペアに調査を行い、自分と友人の性格評定間の関連(小松ら, 2013a)や、友人関係上のリーダー／フォロワー認知(調査協力者がこの友人と一緒に行動する時にどちらがリードすることが多いかを「あなた・友人・どちらともいえない」から1つ選択したもの)と性格評定との関連(小松ら, 2013b)について報告してきた。うち、小松ら(2013b)ではリーダー／フォロワー認知と性格評定との関連が見いだされ、友人との間で「友人がリード」すると答えた者は、自身の性格を臆病(おどおど等)・緩やか(ほんわか等)、友人の性格を几帳面(きっちり等)・淡泊(あっさり等)と評定する傾向が見られた。一方、「自分がリード」すると答えた者は、友人の性格を緩やかと評定する傾向が見られた。

本研究では、擬態語性格尺度の評定値の分析結果(小松ら, 2013b)をもとに、個性性を踏まえた検討を目的として、上記の調査協力者の一部に実施した面接調査の結果を報告する。ここでは、特に友人関係上のリーダー／フォロワー認知と性格評定との関連が明確であった緩やかさの次元を取り上げる。

方 法

調査協力者: 擬態語性格尺度による3種の調査(A.調査協力者の自己評定、B.調査協力者による友人評定、C.友人による自己評定)の回答が有効であった215名(男子23名、女子192名)のうち、面接への参加協力が得られた女子33名。なお、ここでは友人として、調査協力者の親しい友人で、高校から現在までの間のどこかで付き合いのある(あった)、同年代、同性のよく知っている人物を選んで回答を求めている。

面接手続きと内容: 本発表者のうち女性2名が半構造化面接を個別に実施した。面接では、調査協力者の友人評定(上記Bの調査)で「友人の性格によく当てはまる(評定値5か4)」と評定された語から2語(以下、○○は語を示す)を選び、「友人の○○という特徴を表す具体的なエピソード」「友人の○○という面をどう思うか」等を質問した。面接時間は平均21分、内容はメモとICレコーダに記録し、後に逐語録として文章化した。なお、本研究は倫理審査を経て実施している。

結 果

事例の選出と面接内容: 面接で緩やかさの語について尋ねた15名のうち、リーダー／フォロワー認知に関する評定(以下、リーダーシップ評定とする)で「自分がリード」と回答した3名から、友人の緩やかさ評定が高く、自己の緩やかさ評定が低いXとYを、数量的な分析(小松ら, 2013b)で見られた傾向に一致する例として示す。一方、これに一致しない例(緩やかリーダー)として、リーダーシップ評定で「友人がリード」と回答した4名から、友人の緩やかさ評定が高く、自己の緩やかさ評定が低いZの回答を検討する。面接で友人の性格として取り上げた語は、Xは“ふんわり”、Yは“ぼうっとした”、Zは“ほんわか”であった。以下に友人間のリーダー／フォロワーと性格との関連を示唆する面接内容を示す。

私はどっちかっていうとバンバン普通に、淡々としゃべるんですけど、その子はゆっくりファーンとした話し方をするというか。それが逆に知的過ぎず冷たく感じないところかな、とも思います。＜その友達の性格の側面、どう思う？＞好きだなんて思います。私にはないところだなんて思うんで。……私も人ともすごいしゃべるんですけど、私のほうがどっちかというところ8割くらいしゃべってるぐらいしゃべるので。……「うんうん」って言ってくれる友達じゃないと自分が話しちゃうんで。そういう面をすごい持っているから。……その子といたら合うなとか、聞いてくれるしみたい。(5.0/2.1)

学校が終わったら掃除なんですよ。っていうのはもうずっと決まってるんですけど、自分が掃除当番っていうこと自体も把握してなくて。終わって「帰る？」って言ったら「うん、帰る」って言って普通に帰るんですよ。ほんで先生に「おいおい」みたいな、「お前掃除当番じゃないか」みたいに呼び止められて……＜その友達の性格の側面、どう思う？＞……「ちょっとしっかりしいや」って発破かけたくなくなるというか。なんかお姉さんみたいな気持ちになっちゃうような。……好ましくないのかもしれないですけど嫌ではないですね。……やっぱり世話をしあげたくなるっていうのがあるのかなと思う。(4.6/3.8)

1人の子が就職活動についてすごいブローって言ったんですね。「就職活動したくない」みたいな……＊ちゃんに残ってフンフンと話聞いてあげたんですよ……「一緒にやってあげるから、一緒に就職活動するサイト登録しよう」とか、それを一生懸命アドバイスして何とか頑張ろう、ニコニコしながら頑張ろうって言うところを見て、その友達は何も言わずに……聞いてたらしい。＜その友達の性格の側面、どう思う？＞……助かります。私は逃げるタイプなんで、そういうところの場面で……そういう時にやっぱり＊ちゃんみたいにほんわかした子がいるとすごく和むし、問題が起きずに済むというか。(4.2/1.9)

注) 上段X、中段Y、下段Zの面接の抜粋。＜＞は面接者の発言、()内数字は緩やかさ下位尺度の評定平均値(友人評定/自己評定)。

考 察

「自分がリード」と認知し、友人を自身より緩やかと評定したXやYでは「8割くらいしゃべる」「発破かけたくなくなる、お姉さんみたいな気持ち、世話をしあげたくなる」等、調査協力者の活動的・支配的・保護的・指導的な役割が語られた。一方、XやYと同様に友人を自身より緩やかと評定しているが、リーダーシップ評定では「友人がリード」としたZでは、「フンフンと話聞いてあげた、一生懸命アドバイス」といった友人の受容的・支持的な行動が、自身や周囲との良好な関係の維持に寄与していることが語られた。これら事例は、リーダー／フォロワー認知と性格評定との関連について、例外を含めた個別的かつ具体的な理解に役立つものと考えられる。

引用文献

- 小松孝至・酒井恵子・西岡美和・向山泰代(2012). 自他の性格評定に使用可能な擬態語性格尺度の構成. 心理学研究, 83, 82-90.
小松孝至・酒井恵子・向山泰代・西岡美和(2013a). 親密な友人関係における性格の認知(1). 日本教育心理学会第55回総会, 287.
小松孝至・向山泰代・西岡美和・酒井恵子(2013b). 親密な友人関係における性格の認知(2). 日本心理学会第77回大会, 28.